精神発達における小児の健康度

川　井　　　尚(都立精神医学総合研究所)
高　橋　種　昭(淑徳短大)
小　林　芳　文(横浜国立大)
高　石　昌　弘(国立公衆衛生院)
平　山　宗　宏(東京大学)
小　林　　　臻(東京大学)

精神発達とは，人の事物事象，できごととの知的，情緒的，社会的な絶えざる相互作用の体験過程である。この体験過程がスムースに展開されていくことを精神的健康とし，その過程が妨げられている状態を不健康ということができる。そこで幼児健康度調査の資料をこの観点から検討し，精神発達の側面における小児の健康を明らかにする試みを行った。

方　　法

昭和55年度に実施された小児の健康度調査の精神発達項目(1歳前半，1歳後半，2歳，3歳，4歳，5歳，6歳)の検討，及び妊娠中の異常，出生時の異常，出生時体重，微症状，摂食(少食，偏食)，神経性習癖，夜尿，マスコット発育・運動機能のおくれの各調査事項との関連を検討する(x^2 検定)[注]。尚，運動発達項目は　章において検討されているので除いた。

I. 精神発達項目の達成(通過)率及び性差

今回の調査では，1歳前半から6歳までの各時期について精神発達項目を作成し，その得られた成績をもって精神的健康を推測することになる。その理由は，言語，社会性，親子関係から成る発達項目が作成されており，その時期までに相互作用の体験過程がスムースに展開されてきていれば，与えられたその項目が達成されると考えられるからである。

さて，発達項目は標準化された発達検査及びわれわれの行動観察から選び，特に通過率が85%以上得られると予測されるものをそろえた。
表1にみるように結果はほぼ90～95%の達成率が示されているが，項目のなかには少しむつかしい，やったことがない，意味がわからないといった理由で低い数値を示したものがみられる。その発達項目は表1に△印を付したので，ここで「いいえ，わからない」と答えたものは直接確かめる必要がある。そこで，90～95%と高い達成率をもつ項目が達成されていない子どもは相互作用の体験過程がスムースに展開していないことを推測させ，それを妨げている要因を検索しなくてはならない。この点については調査事項との関連で今回は検討するが，その要因は2大別でき，それは身体的基礎をもつものと，心理環境的な問題とである。

性差について

各年齢段階とも性差のみられた項目のうち，2歳の(2)箱や積木をつみあげて塔のようなものをつくったり，横に並べて列車にみたてて遊ぶことをしますか，のみが男児の方が達成率が高く有意差がみられ，他は全て女児に高く有意の差が認められた。ここでは従来の女児の方が発達がはやいという見解が裏づけられている。

以下各年齢段階毎に性差のある項目を検討し，保健指導の参考にしたい。

①1歳前半

ここでは3)の名前を呼ばれてふりむく，7) 8)の母子関係を除いて，全て女児に高く性差が認められ，特定の傾向は示さない。

②1歳後半

2)の話しことば，5)の大人とのやりとり遊び，8)の自分から食べようとするに性差が認められ，女児の方がことばがはやいという一般傾向を示しているのかもしれない。

③2歳

3)の2語文，5)のアイサツことば，がここでも女児に高く，2)の積木遊びが男児に高い。積木という遊具の種類が影響しているものと思われる。

④3歳

3)の約束，4)の自発性の2項目が女児に高い達

成率を示し，これは社会性の側面である。

⑤4歳

1)の経験したことを話す，2)の役割をもつごっこ遊び，6)の発音で，いずれも言語能力を示す項目で女児が高い達成率を示している。

⑥5歳

3)のルールを守ること，4)の友だちの選択，5)のがまんをすることの項目で女児が高い達成率を示し，これは比較的社会化がスムースにいく傾向を示しているのかもしれない。その他2)の経験を絵にかくこと，7)の母子関係の補助項目に差がみられている。

⑦6歳

7)の母子関係の補助項目，9)の言語理解の項目で性差が認められている。

以上の性差の検討から，その基本的傾向として女児の方が言語及び社会性の領域でその達成が男児よりもはやいことが指摘され，保健指導の際の参考となる。また，興味深いことは母子関係の項目で，5,6歳児の補助項目を除いて，全て性差の認められないことである。

ちなみに母子関係の項目は，1歳前半(7)(8)，1歳後半(6)，(7)，2歳(7)，(8)，3歳(5)，(4)，(7)，(8)，4歳(3)，5,6歳(6)，(7)，であり，これらが達成されていることは母子関係が形成発達しその機能が果されていることを示すひとつの指標である。

母子関係は男児と女児とではなく性質が多少異なることが推測されはするが，その達成には差がみられないことをこのデータは示している。

Ⅱ. 発達項目と調査事項との関連

発達項目の達成に（負の）効果を与えていると思われる要因を調査項目からひろうと第1に身体的基礎として妊娠中の異常，出生時の異常，出生時体重があげられる。第2に精神的健康の危険信号として，微症状，神経性習癖，マスコットの要因があげられる。以下これらと発達項目との関連をx^2検定によって検討し，意味のあると考えられるものをとりだしたい。尚，いずれの事項も「有」と発達項目「いいえ，わからない」という形で有意差が認められている（表2）。

1. 妊娠中の異常

1歳前半では有意差はみられない。1歳後半で男児1)の母子関係に，そして2歳，3歳，4歳では認められない。5歳女児で2)の友達との協同遊び，4)の友達の選択，8)の左右の判別に有意差が認められ，6歳ではみられていない。

ここでは特定の傾向や意味をみいだすことはできない。

2. 出生時の異常の有無

1歳前半では女児で4)の指さし，1歳後半女児1)の絵本の指さし，3歳女児8)の母子関係，4歳男児2)の役割をもつごっこ遊び，女児3)の母子関係，5歳女児5)の忍耐，6歳男児2)の友達との協同遊びに有意差が認められている。

ここでもある特定の傾向や意味をみいだせないが，女児の方に効果があるのかもしれない。

3. 出生時体重（2,500 g以下，2,500～4,000以下）

1歳前半女児4)の指さし，1歳後半女児1)の絵本の指さし，5)の大人とのやりとり遊び，2歳男児3)の2語文，3歳女児3)の約束，4歳女児4)の自信，男児8)のおつかい，で有意差が認められ，5,6歳にはみられない。

ここでは2歳までは言語的機能，3,4歳では社会性の項目に有意差がみられることに注目される。

4. 微症状の有無

1歳前半には有意差がみられず，1歳後半から出現している。

1歳後半男児1)の絵本の指さし，男女とも3)の模倣，男児5)の大人とのやりとり遊び，6)の母子関係，女児8)の自分から食べようとする，2歳女児6)の所有の認識，3歳男児8)の母子関係，5歳男女とも6)の母子関係，6歳男児6)の母子関係に有意差がみられる。

ここでは特に母子関係や大人との関係と微症状との関連が最も意味があると考えられる。

5. 微症状 ── 顔色が悪い ──

1歳前半及び3～6歳には有意差が認められないことが特徴的である。

1歳後半男児1)の絵本の指さし，男女とも3)の大人の模倣，男児5)の大人とのやりとり遊び，6)の母子関係，女児8)の自分で食べようとする，2歳男児1)大人の模倣に有意差が認められる。

これをみると，1歳後半から2歳にかけての顔色の悪さは，大人とのかかわりと関係がありそう

であり，また男児の方に対応関係が強い傾向が認められる。

6. 少食

1歳前半には有意差がみられない。

1歳後半女児4)のごっこ遊び，男児8)の自分から食べようとする，3歳男児1)の親の指示に従う，4)の自分でやりたがる，8)の母子関係，4歳女児6)の発音，5歳女児6)の母子関係，6歳男児1)の経験を絵にかく，6),7)の母子関係，女児5)の忍耐で差が認められる。

ここでは3歳までは男児の方に，意欲や母子関係が，4,5歳では女児にそして全体的な傾向としは意欲や大人との関係が指摘できる。

7. 偏食

1歳前半男児4)の指さし，5)の言語理解，1歳後半女児8)の自分から食べようとする，2歳女児3)の2語文，5)のアイサツことば，3歳男児3)の約束，5)，8)の母子関係，4歳女児6)の発音，5歳男児4)の友達の選択，男女とも5)の忍耐，6歳男児5)の忍耐，女児8)の左右の弁別に有意差がみられている。

ここでは偏食は意欲，忍耐の項目に意味があると考えられる。

8. 神経性習癖

1歳前半には有意差はみられず，これは当然のことといえる。

1歳後半男児3)の大人の模倣，4)のごっこ遊び，女児6)の母子関係，2歳女児8)の母子関係，3歳男児1)の親の指示に従う，女児8)の母子関係，4歳男児6)の発音，6歳男児6)の母子関係に有意差が認められる。

ここにあげられた神経性習癖は常同行動として母子関係機能の代理を果すものであり，その意味で母子関係の項目に有意差がみられたことは注目に価する。即ち，母子関係の発達が順調にいっていないことと習癖があることとは有意な関係を示したのである。

9. 夜尿

3歳児健診で夜尿の訴えがあるので，3歳以上について検討を加えた。

3歳男児1)の親の指示に従う，2)のごっこ遊び，男女とも3)の約束，男児5)の母子関係，9)の生活習慣，4歳1)の経験を母親に話す，7)の信号，5歳男女とも5)の忍耐，6歳男児6)の母子関係に有意の差が認められている。

男児の方に有意差がみられるのは従来の研究の通りである。ここでは母子関係をはじめとする大人との関係や，約束，忍耐といった項目との関連に意味をもつと考えられる。

10. マスコットの有無

2歳まで有意差がみられないことは当然のことといえる。

3歳男児3)の約束，女児5)の母子関係，9)の生活習慣，4歳女児6)の発音，5歳男児2)の友達との協同遊び，3)のルール違反の指摘，8)の左右の弁別に有意の差が認められた。

ここでは社会性の項目との関連に意味があるものと考えられる。

11. 母子関係の項目との関連

以上の発達項目と調査事項との関連をみると，母子関係が微症状以下の各要因と特に関連を有することが認められる。

そこでこの角度から再検討を加えることにしたい。

1歳前半には有意差は認められない。1歳後半は微症状，顔色の悪さ（神経性習癖）と，2歳は神経性習癖，3歳では微症状，少食，偏食，神経性習癖，夜尿，マスコット，4歳では認められず，5歳で微症状，少食，6歳では微症状，少食，神経性習癖，夜尿に有意差が認められている。

従って，母子関係の様相はこれらの症状や行動に反映される可能性を指摘しうる。

そこで，母子関係の発達やその機能が十分果されていないことのひとつの危険信号として，微症状以下の事項は有用であり，この観点からの保健指導がのぞまれる。

また，母子関係や大人とのかかわりが不全であると遊びや話しことばの発達にも影響があることが各発達項目での有意差によって示されているという見解も成立しうる。

12. 発育・運動機能のおくれ

母親のおくれについての評価と発達項目のチェックとの関連を検討した。

1歳前半女児3)の名前がわかる，7)の母子関係，1歳後半男女とも1)の絵本の指さし，男児2)の話しことば，3)大人の模倣，4)のごっこ遊び，男女とも5)の大人とのやりとり遊び，6)の母子関係，

男児8)の自分で食べようとする。

2歳女児2)の積木遊び，男女とも3)の2語文，4)の他児との遊び，男児5)のアイサツことば，女児6)の所有の認識，7)の母子関係，3歳男女とも2)のごっこ遊び，男児4)の意欲，4歳男児1)の経験を話す，男女とも2)の役割をもつごっこ遊び，男児3)の母子関係，4)のルール，5)の自信，6)の発音，男女とも7)の信号，男児8)のおつかい，5歳女児1)の経験を絵にかく，男女とも2)の友達との協同遊び，3)のルールを守ること，女児5)の忍耐，男女とも8)の左右の認識，9)の物語りの理解，6歳で女児は発育・運動機能のおくれにチェックされたものはいない。男児1)の経験を絵にかく，3)のルールを守ること，8)の左右の弁別，9)の物語りの理解，以上の項目に有意差が認められた。

第1に，1歳前半は女児に，1歳後半は男児，2歳，3歳は男女，4歳は男児，5歳は男女，6歳は男児に多く有意の差が認められる。

第2に有意差を示した発達項目は，言語的機能を中心にし，これに社会性や母子関係等大人とのかかわりがつづいている。

従って，母親によって発育・運動機能のおくれを評価された子どもは，言語機能によって示される知的側面のおくれを示し，それに付随して二次的に社会性や母子関係の問題がでてきているものと推測される。

結　　語

以上の得られたデータを検討した結果，次のことが云いうると考えられる。

I. 通過率

通過率はほぼ90〜95%を示した。尚，表1に△印をつけた項目は，低い通過率を示したものである。このうち，社会性や母子関係の項目は精神的健康の問題，保健指導上に有用性があるのでそのままのこしたい。そこで削除或は項目のさしかえの対象となる項目は以下のようである。

4歳の6)　ほとんど発音をまちがえずに話す。
5歳の1)　経験したことを絵にかく。
　　　8)　お話しを聞いてその筋がよく分る。

通過率の性差

①女児の方が男児よりもはやい発達を示し，特に言語及び社会性の領域において顕著である。

②母子関係の項目には性差が認められない。

II. 発達項目と調査事項との関連

1. 妊娠中の異常

発達項目の不合格と妊娠中の異常との関係には特定の傾向や意味をみいだせない。

2. 出生時の異常

発達項目の不合格と出生時の異常との関係には特定の傾向や意味をみいだせないが，有意差は女児の方に多く，何らかの効果があるのかもしれない。

3. 出生時体重

出生時体重2,500 g以下のものは，2歳までは言語機能に，3,4歳では社会性の領域で不合格の傾向を統計的に示した。

4. 微症状

微症状を有するものは，母子関係の大人とのかかわりの項目に不合格の傾向を示した。

5. 顔色

顔色の悪いものは，1,2歳で大人とのかかわりに問題をもち，特に男児の方により強い対応を示した。

6. 少食

少食のものは，3歳までは男児の意欲や母子関係に，4,5歳では女児に，そして全体的傾向としては，意欲や母子関係の問題をもつものと関連している。

7. 偏食

偏食を示すものは，全体的傾向として，意欲，忍耐，社会性の領域に問題をもつことが示されている。

8. 神経性習癖

神経性習癖をもつものは，母子関係に問題を有する傾向を示した。

9. 夜尿

夜尿は男子に多く性差が認められた。夜尿のあるものは，母子関係や大人とのかかわり，社会性，忍耐の項目に不合格の傾向を示している。

10. マスコット

お気に入りのマスコットをもつものは，社会性の領域の項目に不合格の傾向を示した。

11. 母子関係の項目

母子関係の項目の不合格は，微症状，少食，偏食，神経性習癖，夜尿，マスコットと殆んどの調査事項と関連を有している。従って小児の精神

的健康を考えるとき，母子関係は極めて重要な役割を果しているといえる。

12. 発育・運動機能のおくれ

発育・運動機能のおくれをチェックされたものは，言語的機能を中心とする項目に不合格の傾向を示し，これは知的側面のおくれを表わしているものと考える。ついで母子関係や大人とのかかわりの項目で不合格の傾向を示し，これは知的なおくれに付随したものと思われる。

以上，小児の精神的健康を評定するために妊娠中の異常から以下それにネガティブな効果を与えるであろう要因と発達項目との関連を検討した。その結果，身体的な基礎としての要因と精神的健康との間には特定の傾向はなく，微症状以下の事項と関連を有することが示された。そこで今回の調査の結論として，小児の精神的健康は微症状以下の症状や行動上の問題がないこと，そのためには母子関係が形成発達し，その機能を十分果すことが重要であることが示された。

なお，今回作成した精神発達項目は，通過率の低い4歳の6)，5歳の1)，8)を除いて精神的健康を評定することに有用であることが以上の検討から明らかである。

今後，positive mental helath の観点から小児の精神的健康を増進する要因を検索することがのこされた課題である。

謝　　辞

資料の統計的処理は，東京大学母子保健学教室小林　臻博士，同教室石島央子氏，星山佳治氏，児童手当協会近藤洋子氏，東京都精神医学総合研究所恒次欣也氏のお力を全面的におかりした。ここに心から感謝の気持を表わしたい。

注.

1.	妊娠中の異常	①なし×②妊娠中毒症，糖尿病，貧血
2.	出生時の異常	①なし×②仮死，骨盤位
3.	出生時体重	①2,500 g以下×②2,500〜4,000 g以内
4.	微症状	①なし×②あり
5.	顔色が悪い	①なし×②あり
6.	少食	①なし×②あり
7.	偏食	①なし×②あり
8.	神経性習癖	①なし×②指しゃぶり，爪かみ，チック
9.	夜尿	①なし×②ときどき，毎晩
10.	マスコット	①なし×②あり
11.	発育・運動機能のおくれ	①なし×②あり

表1　精神発達項目通過率

※　5％水準，※※1％水準，△通過率の低い項目

12カ月から17カ月 N＝3387		はい	いいえ及びわからない	有意差
1. バイバイと手をふったりしてほかの人のまねをしますか。	男	97.1％	2.9％	※※
	女	99.0	1.0	
2. おとなのことばの発音をまねしようとしますか。（正確でなくてもよい）	男	82.9	17.1	※※
	女	89.3	10.7	
3. 自分の名前をよばれるとそちらの方をふりむいて，自分の名前がわかっているようですか。	男	99.4	0.6	
	女	99.2	0.8	
4. 犬や自動車など知っているものを指さして声を出して教えることがありますか。	男	85.0	15.0	※※
	女	89.7	10.3	
5. おとなのいう簡単なことば（おいで，ちょうだいなど）がわかりますか。	男	98.0	2.0	※
	女	99.1	0.9	
6. 音楽の音にあわせて体を動かしますか。	男	86.4	13.6	※※
	女	93.1	6.9	
7. なついている人が部屋から出ていくとそのあとを追おうとしますか。	男	98.2	1.8	
	女	97.8	2.2	
8. お母さんなどなついている人にはなれていて，また再会したとき，とてもよろこびますか。	男	96.2	3.8	
	女	95.8	4.2	
18カ月から23カ月 N＝3448				
1. 絵本をみて「ワンワンはどれ」などと，知っているものをきくとそれを指でさしますか。	男	93.6	6.4	
	女	94.4	5.6	
2. 意味のあることばを2つ以上いえますか。（ワンワン，ブーブーなど）	男	95.8	4.2	※※
	女	98.0	2.0	
3. おとなの仕事のまねをしますか。（そうじや食事のしたくなど）	男	95.8	4.2	
	女	97.0	3.0	
4. おもちゃの自動車を走らせたりお人形を抱いたりして遊びますか。	男	99.3	0.7	
	女	98.8	1.2	
5. ボールをころがしあったりして，おとなのやりとりの遊びをするようになりましたか。	男	97.8	2.2	※※
	女	99.1	0.9	
6. 何かこわいことがあると，お母さんなど，なじみのある人にしがみつくことがありますか。	男	97.2	2.8	
	女	97.4	2.6	
7. お母さんなどなじみのある人が立ち去ろうとすると，泣いたり声を出したりしてあとを追いますか。	男	91.7	8.3	
	女	91.1	8.9	
8. こぼしながらでもよいのですが，スプーンをつかって自分で食べようとしますか。	男	98.3	1.7	※
	女	99.3	0.7	

2　歳　児　N＝1693		はい	いいえ及びわからない	有意差
1. 新聞や本を読むしぐさをするなど，おとなのまねをすることがありますか。	男	96.7 %	3.3 %	
	女	98.0	2.0	
2. 箱や積木をつみあげて塔のようなものを作ったり横に並べて列車にみたてて遊ぶことをしてますか。	男	96.7	3.3	※
	女	93.9	6.1	
3. 「パパカイシャ」などちがった意味をもつ言葉をつなげて話しますか。（２語文）	男	89.4	10.6	※※
	女	96.2	3.8	
4. 同じくらいの子どもといっしょにいて遊ぶことをよろこびますか。	男	95.9	4.1	
	女	95.9	4.1	
5. 朝に「おはよう」食事のあと「ごちそうさま」などのあいさつができますか。　△	男	82.4	17.6	※※
	女	91.3	8.7	
6. コップや茶わんなど自分のものと，他人のものの区別ができますか。	男	95.9	4.1	
	女	97.4	2.6	
7. なじみのない人に出あうと，はじめはお母さんなどにしがみついたり，うしろにかくれたりしてもなれてくるとその人と遊ぶようになりますか。	男	94.2	5.8	
	女	94.4	5.6	
8. 親以外の身近なおとなでなついている人がありますか。	男	92.1	7.9	
	女	92.2	7.8	
3　歳　児　N＝1710				
1. 「これをパパにあげてきて」「新聞をもってきて」など親の指示によろこんでしたがって行動できますか。	男	97.5	2.5	
	女	98.5	1.5	
2. ままごと，自動車ごっこ，怪獣ごっこなど，ごっこ遊びができますか。	男	96.1	3.9	
	女	96.0	4.0	
3. 約束したことや順番を守ることができるようになりましたか。　△	男	68.1	31.9	※※
	女	75.2	24.8	
4. 何でも自分でやりたがるところがありますか。	男	91.2	8.8	※※
	女	97.3	2.7	
5. お母さんなどといろいろなお話しをするのがすきですか。	男	94.3	5.7	
	女	95.7	4.3	
6. お母さんなどから離れて遊ぶことができますか。	男	93.7	6.3	
	女	93.3	6.7	
7. 疲れたときや，具合の悪いときは，お母さんなどにくっつきたがる。　△	男	84.3	15.7	
	女	85.5	14.5	
8. それ以外はあまりベタベタ甘えなくなりましたか。	男	76.5	23.5	
	女	78.4	21.6	
9. ひとりでくつをはくこと，あるいはボタンをはずして上着をぬぐことができますか。	男	95.8	4.2	※※
	女	98.2	1.8	

4　歳　児　N＝1841		はい	いいえ及びわからない	有意差
1. 自分の経験したことをお母さんなどに話しますか。	男	93.7％	6.3％	※※
	女	97.7	2.3	
2. 友だちとお母さん役，運転士役などの役割をもったごっこあそびをしていますか。	男	80.8	19.2	※※
	女	93.2	6.8	
3. お母さんなどからほめられると，よろこびで得意がりますか。	男	97.9	2.1	
	女	98.1	1.9	
4. 勝ち負けのルールがわかるようになり，負けるとくやしがりますか。	男	85.9	14.1	
	女	84.9	15.1	
5. 自信ありげにふるまっていばってみせることがありますか。	男	88.9	11.1	
	女	87.6	12.4	
6. ほとんど発音をまちがえずに話すようになりましたか。 △	男	76.1	23.9	※
	女	82.4	17.6	
7. 信号の色がわかり，交通ルールがわかるようになりましたか。	男	87.9	12.1	
	女	87.8	12.2	
8. 近所のよく知っているところなら簡単なお使いができますか。 △	男	75.9	24.1	
	女	77.3	22.7	
5　歳　児　N＝1757				
1. 自分の経験したことを思いだして絵にかきますか。 △	男	64.6	35.4	※※
	女	71.9	28.1	
2. 友だちと一緒に砂や積木で何かをつくって遊びますか。	男	97.7	2.3	
	女	98.2	1.8	
3. 友だちなどのルール違反を「いけないんだよ」などと注意しますか。	男	86.3	13.7	※
	女	89.7	10.3	
4. 友だちのなかに好きな子，きらいな子ができましたか。 △	男	73.2	26.8	※
	女	77.3	22.7	
5. おもちゃやお菓子などをほしくてもがまんすることができるようになりましたか。 △	男	78.2	21.8	※※
	女	87.5	12.5	
6. 外から帰ってきてお母さんなどがいないと心配したり泣きべそをかく。	男	43.3	56.7	
	女	46.1	53.9	
7. あるいはお母さんなどがお迎えにくると，とてもよろこんだりしますか。	男	88.5	11.5	※※
	女	92.4	7.6	
8. 自分の右，左がわかりますか。	男	85.8	14.2	
	女	86.4	13.5	
9. お話を読んでもらったり，してもらって，そのすじがよくわかるようになりましたか。 △	男	86.2	13.8	
	女	88.9	11.1	

6　歳　児　N＝931		はい	いいえ及び わからない	有意差
1. 自分の経験したことを思いだして絵にかきますか。	男	77.0％	23.0％	
	女	82.0	18.0	
2. 友だちと一緒に砂や積木で何かをつくって遊びますか。	男	99.0	1.0	
	女	97.4	2.6	
3. 友だちなどのルール違反を「いけないんだよ」などと注意しますか。	男	88.1	11.9	
	女	91.3	8.7	
4. 友だちのなかに好きな子，きらいな子ができましたか。	男	75.4	24.6	
	女	79.8	20.2	
5. おもちゃやお菓子などをほしくてもがまんすることができるようになりましたか。	男	81.3	18.7	
	女	86.1	13.9	
6. 外から帰ってきてお母さんなどがいないと心配したり泣きべそをかく。	男	34.5	65.5	
	女	40.5	59.5	
7. あるいはお母さんなどがお迎えにくると，とてもよろこんだりしますか。	男	84.8	15.2	※※
	女	92.9	7.1	
8. 自分の右，左がわかりますか。	男	91.2	8.8	
	女	93.5	6.5	
9. お話を読んでもらったりしてもらって，そのすじがよくわかるようになりましたか。	男	87.8	12.2	※※
	女	94.4	5.6	

表2　精神発達と各調査項目との関連

1 歳 前 半　N＝3387

※5％水準，※※1％水準

	通過率と性差	発育・運動機能の遅れ 男	発育・運動機能の遅れ 女	妊娠中の異常 男	妊娠中の異常 女	出生時の異常 男	出生時の異常 女	出生時の体重 男	出生時の体重 女	微症状 男	微症状 女	顔色 男	顔色 女	少食 男	少食 女	偏食 男	偏食 女	夜尿 男	夜尿 女	くせの種類 男	くせの種類 女	マスコット 男	マスコット 女
1. バイバイと手をふったりしてほかの人のまねをしますか。	※※♀																						
2. おとなのことばの発音をまねしようとしますか。（正確でなくてもよい）	※※♀																						
3. 自分の名前をよばれるとそちらの方をふりむいて，自分の名前がわかっているようですか。			※※																				
4. 犬や自動車など知っているものを指さして声を出して教えることがありますか。	※※♀						※		※※							※※							
5. おとなのいう簡単なことば（おいで，ちょうだいなど）がわかりますか。	※♀															※							
6. 音楽の音にあわせて体を動かしますか。	※※♀																						
7. なついている人が部屋から出ていくとそのあとを追おうとしますか。			※																				
8. お母さんなどなついている人にはなれていてまた再会したときとてもよろこびますか。																							

1　歳　後　半　　　N＝3448

	通過率と性差	発育・運動機能の遅れ 男	発育・運動機能の遅れ 女	妊娠中の異常 男	妊娠中の異常 女	出生時の異常 男	出生時の異常 女	出生時の体重 男	出生時の体重 女	微症状 男	微症状 女	顔色 男	顔色 女	少食 男	少食 女	偏食 男	偏食 女	夜尿 男	夜尿 女	くせの種類 男	くせの種類 女	マスコット 男	マスコット 女
1. 絵本をみて「ワンワンはどれ」などと，知っているものをきくとそれを指でさしますか。		※※	※※				※※		※※	※※													
2. 意味のあることばを２つ以上いえますか。（ワンワン，ブーブーなど）	※※♀	※※										※											
3. おとなの仕事のまねをしますか。（そうじや食事のしたくなど）		※※								※	※	※								※※			
4. おもちゃの自動車を走らせたりお人形を抱いたりして遊びますか。		※※										※			※					※※			
5. ボールをころがしあったりして，おとなとのやりとりの遊びをするようになりましたか。	※※♀	※※	※※						※	※													
6. 何かこわいことがあると，お母さんなどなじみのある人にしがみつくことをしますか。		※※	※※							※		※									※※		
7. お母さんなどなじみのある人が立ち去ろうとすると，泣いたり声を出したりしてあとを追いますか。				※																			
8. こぼしながらでもよいのですが，スプーンをつかって自分で食べようとしますか。	※♀	※※										※		※※			※			※			

2　歳　児　　　N＝1693

	通過率と性差	発育・運動機能の遅れ		妊娠中の異常		出生時の異常		出生時の体重		微症状		顔　色		少　食		偏　食		夜　尿		くせの種類		マスコット	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 新聞や本を読むしぐさをするなど，おとなのまねをすることがありますか。												※											
2. 箱や積木をつみあげて塔のようなものを作ったり横に並べて列車にみたてて遊ぶことをしますか。	※♂		※				※																
3. 「パパカイシャ」などちがった意味をもつ言葉をつなげて話しますか。（2語文）	※※♀	※※	※※					※※									※※						
4. 同じくらいの子どもといっしょにいて遊ぶことをよろこびますか。		※※	※※																※				
5. 朝に「おはよう」食事のあと「ごちそうさま」などのあいさつができますか。	※※♀	※※															※※		※				
6. コップや茶わんなど自分のものと，他人のものの区別ができますか。			※※								※								※※				
7. なじみのない人に出あうと，はじめはお母さんなどにしがみついたり，うしろにかくれたりしてもなれてくるとその人と遊ぶようになりますか。			※																				
8. 親以外の身近なおとなでなついている人がありますか。																					※※		

3　歳　児　　　N＝1710

	通過率と性差	発育・運動機能の遅れ		妊娠中の異常		出生時の異常		出生時の体重		微症状		顔色		少食		偏食		夜尿		くせの種類		マスコット	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 「これをパパにあげてきて」「新聞もってきて」など親の指示によろこんでしたがって行動できますか。														※				※※		※			
2. ままごと，自動車ごっこ，怪獣ごっこなど，ごっこ遊びができますか。		※※	※※															※					
3. 約束したことや順番を示すことができるようになりましたか。	※※♀								※							※		※※	※※			※	
4. 何でも自分でやりたがるところがありますか。	※※♀	※												※									
5. お母さんなどといろいろなお話しをするのがすきですか。																※		※※					※※
6. お母さんなどから離れて遊ぶことができますか。																							
7. 疲れたときや，具合の悪いときは，お母さんなどにくっつきたがる。																							
8. それ以外はあまりベタベタ甘えなくなりましたか。							※			※※				※		※					※		
9. ひとりでくつをはくこと，あるいはボタンをはずして上着をぬぐことができますか。	※※♀					※								※※				※※					※※

4　歳　児　　　N＝1841

	通過率と性差	発育運動機能の遅れ		妊娠中の異常		出生時の異常		出生時の体重		微症状		顔　色		少　食		偏　食		夜　尿		くせの種類		マスコット	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 自分の経験したことをお母さんなどに話しますか。	※※♀	※※																※※					
2. 友だちとお母さん役，運転士役などの役割をもったごっこあそびをしていますか。	※※♀	※※	※※			※																	
3. お母さんなどからほめられるとよろこんで得意がりますか。		※※					※※																
4. 勝ち負けのルールがわかるようになり，負けるとくやしがりますか。		※※																					
5. 自信ありげにふるまっていばってみせることがありますか。		※※							※※														
6. ほとんど発音をまちがえずに話すようになりましたか。	※♀	※※													※		※※			※			※
7. 信号の色がわかり，交通ルールがわかるようになりましたか。		※※	※															※					
8. 近所のよく知っているところなら簡単なお使いができますか。		※※						※															

5　歳　児　　　N＝1757

	通過率と性差	発育運動機能の遅れ 男	発育運動機能の遅れ 女	妊娠中の異常 男	妊娠中の異常 女	出生時の異常 男	出生時の異常 女	出生時の体重 男	出生時の体重 女	微症状 男	微症状 女	顔色 男	顔色 女	少食 男	少食 女	偏食 男	偏食 女	夜尿 男	夜尿 女	くせの種類 男	くせの種類 女	マスコット 男	マスコット 女
1. 自分の経験したことを思いだして絵にかきますか。	※※♀		※※																				
2. 友だちと一緒に砂や積木で何かをつくって遊びますか。		※※	※※		※																	※※	
3. 友だちなどのルール違反を「いけないんだよ」などと注意しますか。	※♀	※※	※※																			※	
4. 友だちのなかに好きな子，きらいな子ができましたか。	※♀				※※										※	※							
5. おもちゃやお菓子などをほしくてもがまんすることができるようになりましたか。	※※♀		※				※									※※	※※	※※	※				
6. 外から帰ってきてお母さんなどがいないと心配したり泣きべそをかくか。										※※	※				※※								
7. あるいはお母さんなどがお迎えにくるととてもよろこんだりしますか。	※※♀																						
8. 自分の右，左がわかりますか。		※※	※※		※※																	※	
9. お話を読んでもらったりしてもらって，そのすじがよくわかるようになりましたか。		※	※※																				

6　歳　児　　　N＝931

	通過率と性差	発育運動機能の遅れ		妊娠中の異常		出生時の異常		出生時の体重		微症状		顔　色		少　食		偏　食		夜　尿		くせの種　類		マスコット	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 自分の経験したことを思いだして絵にかきますか。		※												※									
2. 友だちと一緒に砂や積木で何かをつくって遊びますか。						※																	
3. 友だちなどのルール違反を「いけないんだよ」などと注意しますか。		※																					
4. 友だちのなかに好きな子，きらいな子ができましたか。																							
5. おもちゃやお菓子などをほしくてもがまんすることができるようになりましたか。															※	※※							
6. 外から帰ってきてお母さんなどがいないと心配したり泣きべそをかくか。										※※				※※				※		※			
7. あるいはお母さんなどがお迎えにくるととてもよろこんだりしますか。	※※♀													※									
8. 自分の右，左がわかりますか。		※															※※						
9. お話を読んでもらったりしてもらって，そのすじがわかるようになりましたか。	※※♀	※																					

検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

精神発達とは,人の事物事象,できごととの知的,情緒的,社会的な絶えざる相互作用の体験過程である。この体験過程がスムースに展開されていくことを精神的健康とし,その過程が妨げられている状態を不健康ということができる。そこで幼児健康度調査の資料をこの観点から検討し,精神発達の側面における小児の健康を明らかにする試みを行った。